

**岡田メモ：乳幼児保護条について
(日本で初めての乳幼児保護条例を！)**

長年海外で暮らしたせいか、日本の常識や習慣に疑問を覚えることがよくあります。たとえば選挙期間中の連呼。候補者は政策や実行力で選ぶべきなのに、有権者に名前を刷り込もうという行為はやめてほしいものです。

また、幼い子をひとりにしておくことは時に危険を伴いますので、海外では法律で禁止されているタブーですが、日本では野放し状態です。

先進諸国の法令を調べるため、在京の米英仏独加豪およびシンガポールの7カ国大使館に照会したところ、不文律の英国を除く6カ国から法令が届きました。内容は共通で、「乳幼児は保護されなければならない」「幼い子どもをひとりにしてはいけない」「違反者は罰せられる」と定められています。諸外国では常識のこのような法律が、本当に日本にはまだないのか、上京して法務省と厚労省で尋ねましたが、そのような法律はないし、条令化している自治体もないそうです。

条例が制定されれば社会一般、とくに保護者に注意を促すことができ、乳幼児の事故防止に役立つはず。結果として久留米は日本法制史に名を残すことにもなるでしょう。

(理事 岡田哲也)

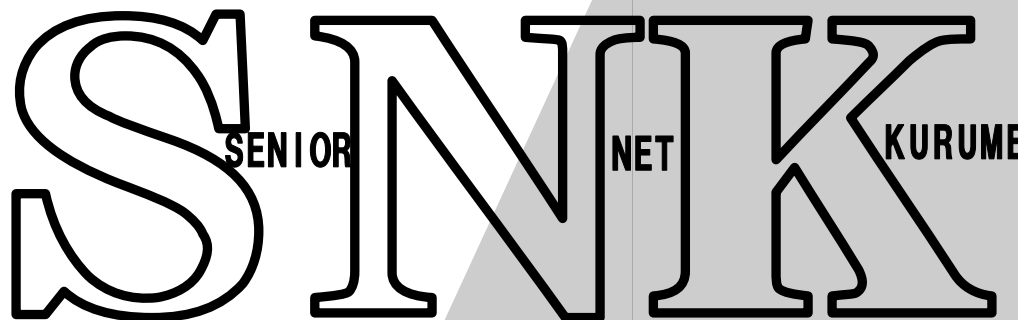
東日本大震災、募金活動御協力ください

事務局に設置した募金箱、又は郵便振り込み等をご利用ください。皆様のご協力をお願いいたします。

振込先 ゆうちょ銀行
口座No. 01710-6-74216
加入社名 シニアネット久留米

被災者緊急援助街頭募金活動報告

皆様からお預かりした街頭募金総額 1,100,023円を理事長他3名で、3月27日、西日本新聞社久留米総局長に委託しました。(広報SNK第32号2011.4.5発行にて報告済)



編集・発行
NPO シニアネット久留米
理事長 今津一躬
久留米市荘島町13-1
TEL 0942-46-2277

教育ボランティア活動について

久留米市教育委員会は、平成18年に「次代の久留米を担う人間力を育成する」教育プランを作成しました。「人間力」とは仲間が好き、学校が好き、久留米が好き、そしてそんな自分が好きな子供を育てると言うものですが、大変難しい命題です。それまでのゆとり教育の目的も「生きる力の育成」でしたが、結果は学力と規範意識の低下となってしまいました。

授業時間の大幅な削減が「授業が分からない→面白くない→勉強嫌い→勉強拒否」の悪循環を生み、勉強しない子供といじめや登校拒否児童が増加しました。市教委は打開策の一つとして地域社会と学校が連携した教育活動を展開する事が有効と考え、SNKに要請が来て丸4年が経ちました。

平成19年度より教育支援している京町小で2年生・3年生の算数の復習時間「チャレンジタイム」の教育助手として約10名が参加しています。「3桁の足し算・引き算と2桁の九九」のやさしい内容です。

昨年度最後の支援日(3月9日)に約50名の子供達から感謝状を貰いました。「寒い時も暑い時も教えに来てくれてありがとう」「手をあげるとすぐ来てくれて分からない所が良く分かりました」「やさしく教えてくれてありがとう。4年生になっても来てください」「算数が好きになりました」等々・・・シニアのメンバーへの思いやりと感謝の気持ちが溢れていて、嬉しい限りです。

「今必要な教育とは何か」について、行政や学校は勿論、親も地域も自らが出来ることを考えなければならない時代が来ています。必要な学力と思いやりや感謝の心を持った子供を育てる為に、経験豊富なシニアの力が求められています。子供の笑顔に触れ将来への夢や希望を託せる教育ボランティア活動です。皆さんの参加をお待ちします。(副理事長 小島紀夫)

勉強を手伝えば、子どもたちはほとんど勉強が解り好きになる。みんなで描いた楽しい作品：京町小学校3年1組

お知らせ

平成23年度 春・会員交流会

日時 平成23年5月22日(日)12:00~15:30
場所 ホテルニュープラザ久留米
会費 4000円
※総会は、当日午前中に開かれます。

第五回久留米ん町探検隊

5月8日(日)に、「篠山城跡・有馬記念館・旧城下町巡りさ(あるき)」を計画しています。
申し込みは定員に達しましたので締め切りました。
キャンセル待ちを受付中です。

どんたくパレードへのお誘い

SNFからSNKへ、共同参加のお誘いがありました。
日時:5月3日(火)午後3時、冷泉公園集合
パレード出発午後4時11分(約30分)
今年は東日本の被災地の復興を祈願し大勢の皆さんの参加をお待ちします。参加受け付けは事務局

(あとがき)新幹線開通を機に街の再開発が議論されている。ネット社会に先駆けて活動したSNKの知恵、そんな人の世の社史を、現在、見直し整理している。(式)

デジタル図書館：幕末に活躍した郷土の先達を紹介

伊藤久著「真木和泉と田中久重」のデジタル化が完了

真木和泉は久留米水天宮の宮司、尊王攘夷派として活躍。田中久重は通称「からくり儀右衛門」と呼ばれた発明家。

講座運営委員会より特別講座報告

- 4/9 スマートフォン第2回 これからの通信について
- 4/16 画像診断 新古賀21病院の内科医
PET、CT、MRI、レントゲン等の、医療最先端の技術を組み合わせて、画像は2次元から、3次元へと立体的に視覚化されていきます。
- 4/30 久留米市の防災行政 久留米市防災対策室
いつ久留米に、どんな地震がくるのか、東日本大震災に久留米より派遣された救援隊としての活動など

事務局だより

- (1)・・・事務局にIP電話を設置しました 050-3303-7078
従来の事務局電話番号0942-46-2277も今まで同様に使用できます。
- (2)・・・4月1日からの支援会費
支援会員に適用される受講料は、23年度分の支援会費を納入された後に適用されます。

私の1枚 ゆきまりさん：西日本新聞社読者の作品「マイ傑作ショット」特選受賞など実績は数々

薫風薫る頃、溪谷に掛かる鯉幟を見たが、その時はだらり、風が助けるまで待ったおかげの写真です。これから写真を始める人へのアドバイスは「じっくり待つ」です。(須賀由貴子)



第1期

2000年12月29日登記

特定非営利活動法人へ組織編成

NPOシニアネット久留米

「私達はSNKの12年の歴史をSNKホームページにUPする、企画に取り組んでいます。社史の特集・第2回はNPO登録したSNKです。「シニア自らが楽しみながら持てる経験や知識を地域社会に生かし貢献していくことを目的とする」理念を掲げ新たな出発です。
(資料、活動の記録は島井、長谷部両氏のHPより見直しています)
参考：広報 Vol.20 2008.10.22 発行：特集 SNK10年史



12月インターネットフェスタ出展参加



5月九州シニア九重キャンプ野外交流会

2000年はネットの時代 日本の先駆けとなる⇒

News at that time

Topic⇒	.1.26	シニアネット仙台とTV会議
	.4.22	読売新聞「電脳空間に生きがい」
	.5.2	朝日新聞「進むIT社会情報弱者救済」
	.9.16	シニア情報プラザ(SIP)開設
	.10.31	マイクロソフト社メロウソサイティが取材
		★地方紙を含め取材やシニアネット各社の見学は多い

2000年度

2000	4.06	NPO法人化申請することをSNK運営委員会で決定
	5.27	九州シニア九重キャンプ、野外交流会 ⇒写真1
	6.18	総会、新人会員歓迎交流会 (B S会館)
	6.30	県知事に対しNPO法人設立認証申請書提出
	8.29	SIPのラーニングセンター完成
	9.16	シニア情報プラザ久留米設立：六つ門商店街有志と共同
	9.17	SIPラーニングセンターでシニア対象のパソコン教室開校
	10.10	社会福祉協議会より委託のパソコン教室開始
	11.04	HP委員会メンバーにより六つ門商店街HP制作開始
	11.18	NHKテレビにてSNKを全国放送で紹介
	11.13	美味かもんば喰う会 (津福サロン)
	11.30	福岡県知事より特定非営利活動法人の認証を受ける
	12.06	メロウソサイティのシニア情報アドバイザー講座に参加
	12.09	久留米インターネット協議会主催フェスタに出展参加⇒写真2
	12.29	「NPOシニアネット久留米法人」登記完了
2001	1.10	ボランティア対象のPC教室：ニューメディア協会の委託事業
	1.21	「NPO法人」化説明会兼新人会員歓迎会(Gホテル)
	2.12	久留米市の委託事業IT講習会開始
	2.20	諏訪中学校パソコン教室へ、講師派遣開始
	3.04	月星化成と荘島プラザ事務所賃借り契約締結
	3.06	荘島プラザにウイルス対策室開設 ⇒写真3.4
	3.29	2001年度久留米市委託事業IT講習会に応礼

エピソード1：まるちゃん

ある日渡邊さんからDMがあり「シニアネット」を立ち上げるから協力してくれとのお話があり、参加しました。荘島サロンが出来た年にSNKのMLにウィルスが入り込み、多くのパソコンが感染していきましました。荘島サロンを急遽「ウィルス対策室」にして、渡邊さんを先頭に数名が缶詰になり、持ち込まれた感染されたパソコンを直していきましました。不肖ながら末席に僕もいました。温厚で実直な渡邊さんのことはいつまでも思い出として残ります。私とは一回り以上も歳が離れていましたが、共通の趣味があり親しくさせていただきました。(石橋修二)

エピソード2：久野美津代さん

2000年から2001年はSNKの激動の時期だったと思います。SIPのオープン前夜祭の時の人出は凄いものでしたし、連日全国からの視察に追われました。IT講習がはじまり、毎週、講師の反省会を開き、研修会がある時は帰宅が毎日深夜だったことも。津福サロンでは三輪農園の芋で観月会や、「織姫たちの七夕パーティー」を楽しみました。基山で開催した文化祭で今は亡き杉さんと肩を組んで踊ったこと。など、今では懐かしい思い出です。

エピソード3：ハイマミーさん

SNK発足後、ミニオフ会が牟田さんのログハウス、続けてしゅんさんのご実家であり、SNK新聞の打ち合わせで、より絆が強くなりました。ハンドル名の向こうに顔が見えるので、MLがより楽しくなり、個人的は、自由な時間を一番持てた時期でしたのでインターネットに夢中でしたね。岡けんちゃんや、ユニークな六郎さん、カメさん、今は亡き杉さんなど懐かしく思い出されます。(高鍋立子)



エピソード4：むかごさん

SNKに参加して久留米で活動できたのは2年半でしたが、パソコンを媒体に集い、実に愉快な日々を過ごさせていただきました。須佐さんや、故杉さんたちとかかわった新聞やホームページ作りは特に印象に残っています。2001年のウイルス騒動の折には、転勤先の熊本で両親とお城見物の最中に電話が入り、帰宅してトップページにお知らせを入れたりしました。ネットの楽しさが忘れられず、終の棲家となった相模原で同じようなネットを立ち上げ活動しています。(最上美枝子)

初期の集まりは縁の熱い時代、優雅なグループ旅行などを楽しみ(高千穂峡)今は昔の佳き思い出の中にある。後左から、まるちゃん、故渡邊さん、野下さん、むかごさん、前列、久野さん、ハイマミーさん、キャットさん

メーリングリストに侵入したウイルス
その対策で皆さんの信頼を回復した

2001年3月当時のHP広告⇒[緊急・重要]ウイルス情報

シニアネット久留米メーリングリストでは3月4日午前中から悪質なコンピュータウイルスが侵入し猛威を振るいました。そのためメーリングリストを閉鎖しています。ホームページで情報を公開しておりますので、注意してご覧ください。
3月5日(月)22時30分SNKで「ウイルス駆除相談室」久留米市内にウイルス相談室をオープンしました。ウイルス駆除の方法伝授と、自分でできない方にはパソコンを持込んで頂いて復旧作業をして差し上げるというものです。
10時～17時で土日オープンいたします。



2001年3月6日当時の「相談室」の広告とウイルス対策室でウイルスと格闘



FUKUOKA SAFETY CENTER CO.,LTD
福岡安全センター株式会社

福岡安全センター株式会社
 ■ トップページ
 ■ スタッフ紹介
 ■ 利用者の声
 ■ コラム

安心・丁寧
信頼のおけるスタッフが
お待ちしております。

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神
3丁目11-1 天神武藤ビル5F
TEL 092-711-7795

筑紫野茶寮
野の庵のページ

佐賀県三養基郡みやき町西島 2910-3
お問い合わせ TEL:0942-96-3051
昼の予約も承ります。夜は予約制です。